



消火栓が使える！ 西日本防災システム

2015 03 10

こんなことがあったようです

3月7日長崎市天神町で民家など6棟が全焼し、1人が亡くなった火災で、市消防局は、消火ホースと口径の合わない不要な金具を消火栓に取り付けたままだったため、住民が初期消火できなかったと発表したようです。市消防局は昨年、ホースを細いサイズのものに交換したようですが、消火栓を確認せず、古いホース用の金具を回収し忘れていたそうです。市消防局は「初期消火が出来ていれば、火災拡大の軽減に効果があったかもしれない。反省し、申し訳なく思う」と謝罪したそうです。この火災は7日午後、住宅が密集する傾斜地で発生したようです。民家やアパートなど6棟が全焼し、空き家など3棟の一部も焼き、焼け跡から1人の遺体が見つかったそうです。消防車が到着するまではバケツリレーのみで、到着後鎮火までに5時間かかったそうです。市消防局によりますと、火災現場から約80mの地点に、直径40ミリのホース5本を収納した消火ボックスがあったそうです。火災発生時、住民は40ミリ用の金具をホースに取り付けようとしたが、消火栓には直径50ミリ用の別の金具が付いたままで、ホースを消火栓につなげなかったそうです。市消防局は昨年10月、この消火ボックスも含めた市内12カ所のホースを直径50ミリから40ミリに変更。防火訓練は今春の予定で、ホース交換後、住民に接続方法や使用法の説明はしていなかったようです。市消防局は9日、市内のほかの11カ所の消火栓を調査したようですが、金具を付けたままのところはなかったそうです。残りの338カ所も4月までに確認するとのことです。お亡くなりになったかたと、この消火栓の問題に関連があるのか、無いのか分かりませんが、初期消火を試みたご近所の方は悔しい思いでしょうね。

NBS



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

